

2026年2月2日
国立大学法人 鹿児島大学
日本エアコミューター株式会社
日本航空株式会社

地域に密着したパイロット人財の創出に向け 飛行操縦体験「SKYCAMP」6期を開講します

国立大学法人鹿児島大学（所在地：鹿児島県鹿児島市、学長：井戸 章雄、以下「鹿児島大学」）、日本エアコミューター株式会社（所在地：鹿児島県霧島市、代表取締役社長：増村 浩二、以下「JAC」）、日本航空株式会社（所在地：東京都品川区、代表取締役社長：鳥取 三津子、以下「JAL」）の三者による連携協力協定の取り組みである「SKYCAMP」6期プログラム（*1）を2月11日（水）に開講します。

本プログラムは、学生へのキャリア形成支援における質の高さが評価され、本年度「第8回キャリアデザインプログラムアワード」（*2）にて優秀賞を受賞しました。今回もさまざまな学部から選出された8名の学生が参加し、パイロット養成訓練を担う株式会社Japan General Aviation Service（以下「JGAS」）の鹿児島空港にあるフライトトレーニングセンターで約2週間の操縦飛行を体験します。

（*1）2025年3月12日付プレスリリース「地域密着型パイロット人財創出プログラム 第Ⅱ期（5 カ年）継続を決定」

参照URL：<https://www.jac.co.jp/pressrelease/pdf/661ab398c4d0587c05e3abf6660deb39cc3946c3.pdf>

（*2）2025年5月23日付プレスリリース「操縦飛行体験 SKYCAMP プログラムが第8回学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワードで「優秀賞」を受賞」

参照URL：<https://www.jac.co.jp/pressrelease/pdf/f09c7fd7784998ae4f8a7382e12f2d7c0fcd2d0b.pdf>



【5期 SKYCAMPの様子】

『SKYCAMPとは』

鹿児島県を中心とした地域航空を永続的・安定的に支えていくため、パイロットを目指す人財の裾野の拡大・発掘・育成について鹿児島大学、JAC、JALの三者が締結した連携協力協定に基づき実施される鹿児島大学の学生を対象とした実践型のインターンシップです。

選出された学生は、約2週間の共同生活をしながら、JGASやJACの運航乗務員による座学、シミュレーター訓練を実施して操縦の基礎を学び、最終的には学生自らが操縦する実機でのフライト訓練をおこないます。また、これらのプログラムを通して、単に技術を磨くだけではなく、地域航空・離島振興への理解、地域への愛着や仲間を大切に思う美しい心を持った人財の育成を目指します。

SKYCAMP終了後、パイロットとしての適性を認められた参加者のうち2名は、JACのパイロットになるために必要なライセンスの取得に向けて、さらなる訓練を受けることができます。なお、その間に必要な資金については鹿児島大学、JAC、JALの三者より支援します。

『6期 参加学生紹介（ ）内は出身地』

※学部3年生が参加します。

法文学部：4名（鹿児島県3名、福岡県）

工学部：2名（鹿児島県、東京都）

理学部：1名（滋賀県）

水産学部：1名（大阪府）



以上